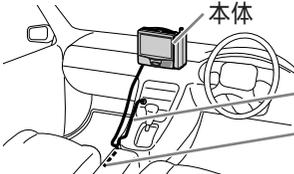
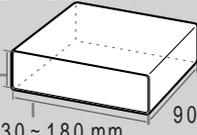


スタンド(別売品)と本体を取り付ける

本体を取り付けるには、スタンド(別売品)が必要です。下記の5種類の中からお好みのスタンドを選んで取り付けてください。

詳しい取り付けかたについては、それぞれのスタンドに添付の説明書をお読みください。

スタンドの適合車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

スタンド名	品番	形状と取付場所	取付例 (コードの接続のしかた [※] 23ページ)
ダッシュボード スタンド	KX-GNS06	 <ul style="list-style-type: none"> ● ダッシュボードに取り付けます。 	 <p>本体</p> <p>カーバッテリーコード</p> <p>パーキングブレーキ センサーコード</p>
アームスタンド	KS-GA3 (クイックシュー 付属)	 <ul style="list-style-type: none"> ● 助手席の固定ボルトに取り付けます。 	 <p>本体</p> <p>カーバッテリーコード</p> <p>パーキングブレーキ センサーコード</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クイックシュー(品番: PQKL10034Z)は、旧機種からの買い替えのときに必要となる場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
インダッシュ スタンド	KX-GNS30	 <ul style="list-style-type: none"> ● 1DINコンソール内に取り付けます。 	<p>インダッシュスタンドを車に取り付けるには、専門技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。</p>  <p>本体</p> <p>パーキングブレーキ センサーコード</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インダッシュスタンドへ本体を収納するときは、テレビチューナーユニットを本体から取り外し、本体にチューナーコネクターカバーを取り付けてください。(テレビチューナーユニットを取り付けた状態では、インダッシュスタンドに収納できません。) ● インダッシュスタンドの引き出し、収納は手動式です。
らくらく スタンド	KX-GNS34	 <ul style="list-style-type: none"> ● コンソールの小物入れに取り付けます。 	 <p>本体</p> <p>パーキングブレーキ センサーコード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取り付け可能な小物入れの寸法 42~52 mm (数字は内寸法)</p>  <p>130~180 mm 90 mm以上</p> </div>
1DINスペース 取付スタンド	KS-GNS24	 <ul style="list-style-type: none"> ● 1DINコンソール内に取り付けます。 	 <p>本体</p> <p>パーキングブレーキ センサーコード</p>



● 指定以外のスタンドは使用しないでください。(※127ページ「別売品一覧」)

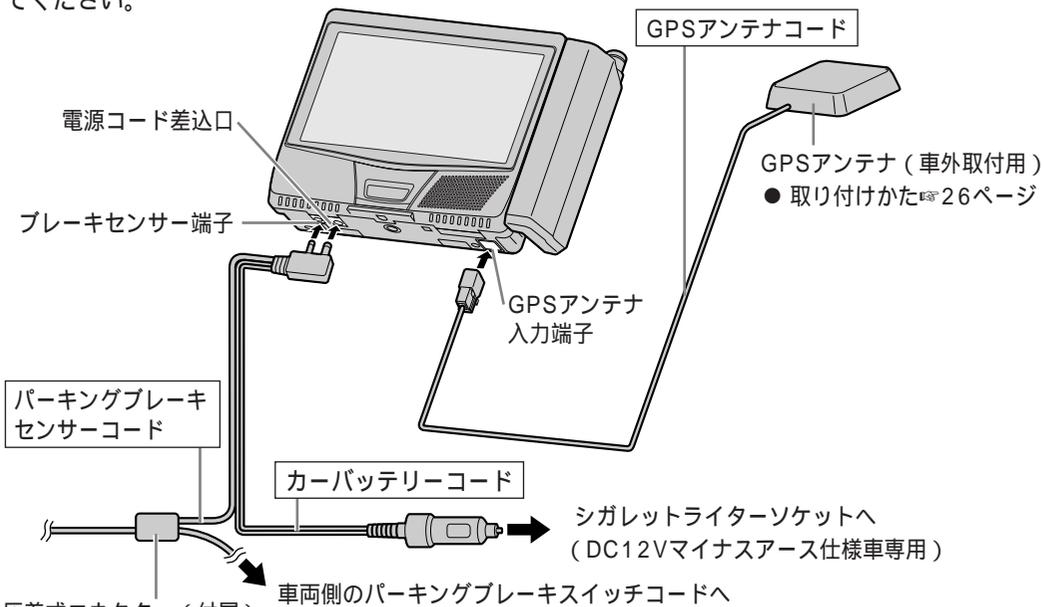
● 極端な高温・低温になる場所に放置しないでください。

〔夏季の閉めきった車内、長時間直射日光の当たる場所や極端な低温場所に放置すると、変形・変色・故障の原因となることがあります。保存温度範囲: -10 ~ +60〕

コードを接続する

カーバッテリーコードを接続する

カーバッテリーコード、パーキングブレーキセンサーコード、GPSアンテナコードを下図のように接続してください。



圧着式コネクタ（付属）

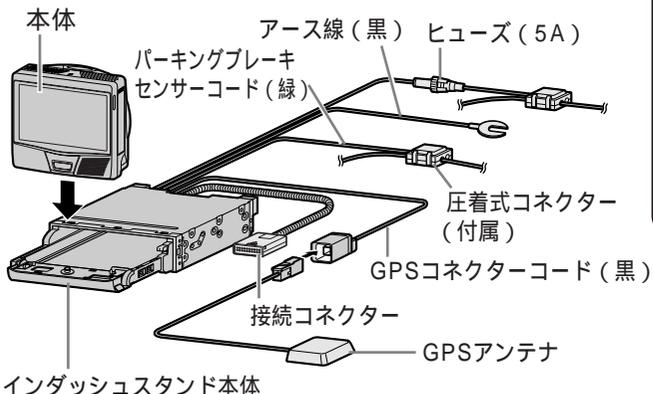
- コード接続方法 24ページ

お願い

- カーバッテリーコードのプラグは、シガレットライターソケットおよび本体の奥に突き当たるまでしっかり差し込んでください。（接触不良の原因になる場合があります。）
- GPSアンテナのコードのコネクタは、カチッと音がするまで差し込んでください。
- コードなどの配線処理は、安全運転に支障をきたさないようにしてください。
- 座席シートを移動するとき、コードなどはさみこまないようにシートの下へたばねるなどして、配線処理をしてください。

インダッシュスタンドの場合

インダッシュスタンドでの取り付け・配線には専門技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。



注意

コードをはさみ込ませたり、引っぱりたり傷つけない



禁止

ショートや断線により、故障や火災の原因になることがあります。

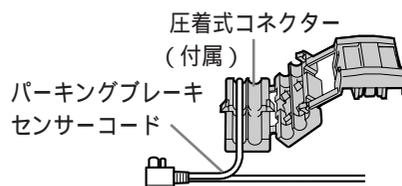
コードを接続する

パーキングブレーキセンサーコードを接続する

何のため？

走行中(運転中)の操作は、前方不注意となり、大変危険です。本機では、お客様の安全を守るため、走行中の操作を制限しています。走行中か停車中かを判断するために、パーキングブレーキセンサーコードを接続します。パーキングブレーキセンサーコードを正しく接続していないと、停車中でも走行中と同様に操作が制限されます。(35ページ)

- 1** パーキングブレーキセンサーコードの先端を
圧着式コネクタ(付属)の溝に取り付ける



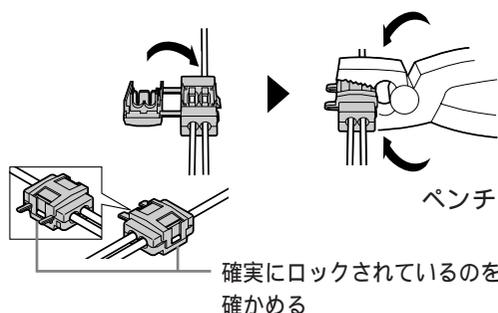
- 2** 圧着式コネクタを車両側のパーキング
ブレーキスイッチコードに取り付ける

- パーキングブレーキスイッチコードの位置について
25ページ



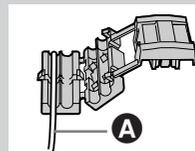
- 3** 圧着式コネクタを折りたたみ、
ペンチなどでしっかりと固定する

- コネクタのロック2カ所が確実にかかっている
ことをお確かめください。



接続をまちがえたときは、**A**の位置でパーキングブレーキセンサーコードを切り、市販の圧着式コネクタ(適用電線サイズ: AWG # 20 ~ 18)を使い正しい位置に取り付け直してください。

(圧着式コネクタを無理に外すと断線の原因になります。)



お願い

- 車両のパーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接続が不十分になり正しく動作しないことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 取り付けと接続が終わったら、ブレーキランプやバックランプ、ホーン、ウインカーなどの電装品が正しく動作するか確認してください。

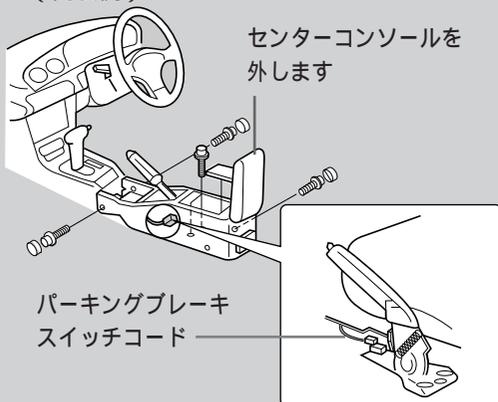
お知らせ

- パーキングブレーキセンサーコードは適当な長さに切って接続できます。
- パーキングブレーキセンサーコードを正しく接続していない場合、停車中にパーキングブレーキを引いても、走行中と判断し、機能や操作を制限します。再度、接続をお確かめください。

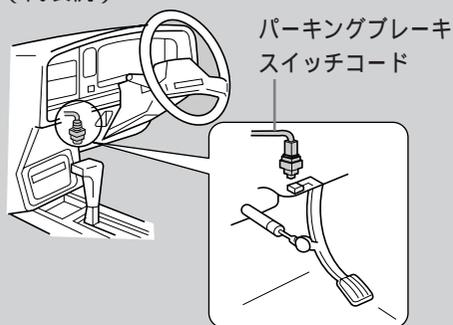
パーキングブレーキスイッチコードの位置

（車種によって異なります。詳しくは車をお買い求めの販売店またはサービス会社などにご相談ください。）

パーキングブレーキがハンドブレーキの場合
（代表例）



パーキングブレーキがフットブレーキの場合
（代表例）



警告

パーキングブレーキセンサーコードを接続するときは、パーキングブレーキを引いて、エンジンを切る



車が動いて、事故の原因になります。

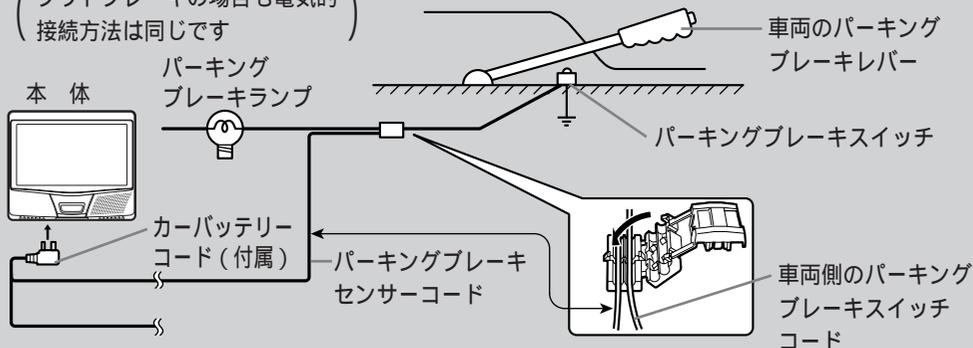
安全のため必ずパーキングブレーキスイッチコードに接続する



間違った取り付けをすると、安全機能がはたらかなくなり、事故の原因になります。

● 23～25ページに従って正しく接続してください。

配線図（フットブレーキの場合も電氣的接続方法は同じです）

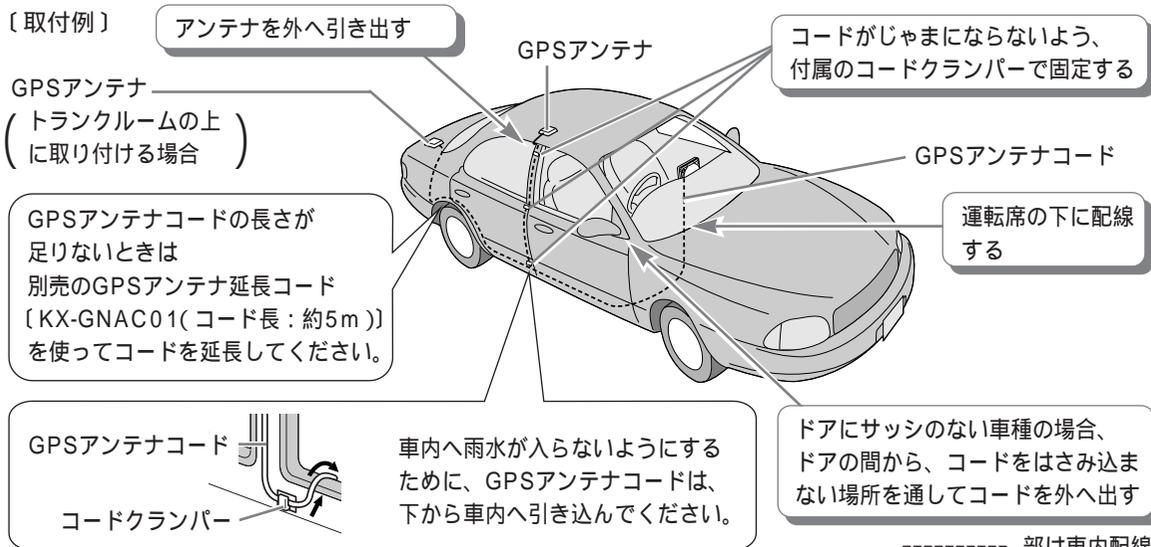


GPSアンテナを取り付ける

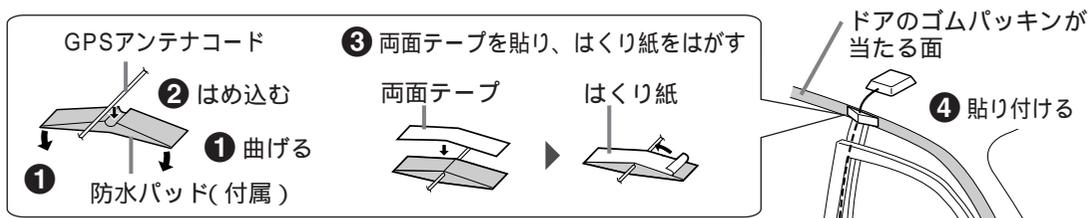
GPSアンテナの取り付け場所

GPSアンテナは下図のようにGPSアンテナコードを引き回し、アンテナ底面の磁石で屋根(ルーフ)などに固定します。できるだけGPS衛星からの信号を受けやすい場所に水平に取り付けてください。

車のダッシュボードに取り付けると、車の屋根(ルーフ)などの金属部やガラスの種類によっては、GPS衛星からの信号を受けにくくなるため、現在地を正確に表示できなくなり、ナビゲーション機能が正常にはたらかない場合があります。



防水パッドの使いかた(車内に雨水が入らないようにするために)



GPSアンテナの固定のしかた

しっかりと取り付けるために、GPSアンテナを平らな面にのせ、アンテナの磁石の力で固定する

良い例



悪い例



GPSアンテナについて

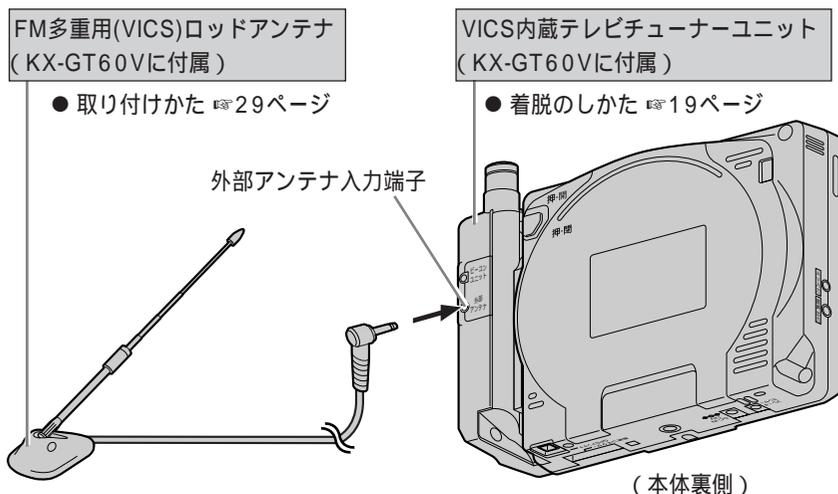
- GPSアンテナは、本体から50 cm以上離して取り付けてください。
- GPSアンテナに付いている磁石は大変強力です。時計や磁気カードなどに近づけないでください。(時計や磁気カードが故障したり、使えなくなることがあります。)
- GPSアンテナは地面や砂ぼこりの多い所には置かないでください。(取り付けの際、磁石に付いた鉄粉で車のルーフを傷つけないように、鉄粉などをよく取り除いてください。)
- GPSアンテナに雪が積もると受信できません。雪を取り除いてください。
- 洗車などのときは取り外してください。(傷付きや故障の原因になります。)

アンテナコードについて

- GPSアンテナコードを車外でたるませたまにしないでください。
- GPSアンテナのコードはテレビやラジオのアンテナコードから離してください。(テレビやラジオの受信妨害の原因になります。)
- GPSアンテナを取り外すときに、GPSアンテナコードを引っ張らないでください。

ダイバーシティユニット(別売)またはダイバーシティセット(別売)を使用しない場合

KX-GT60Vをご使用の場合は、付属のFM多重用(VICS)ロッドアンテナを下図のように接続してください。接続するときは、本体の電源を切った状態で行ってください。

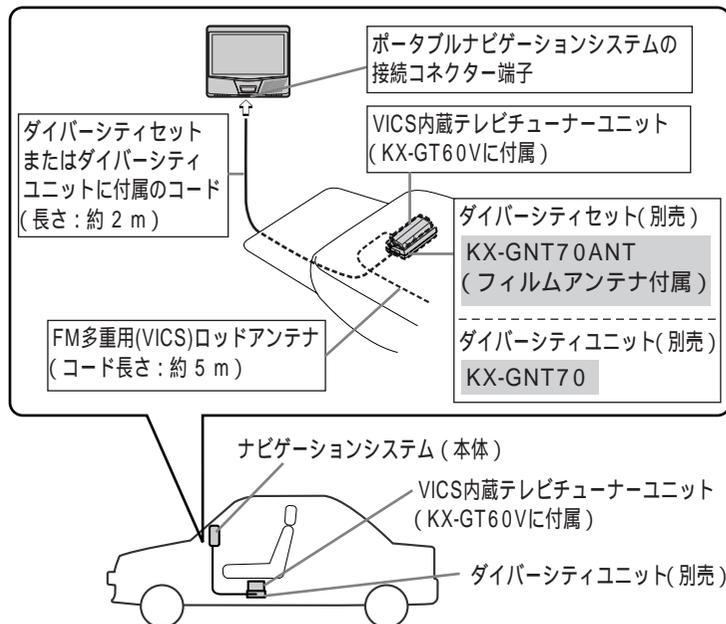


ダイバーシティユニット(別売)またはダイバーシティセット(別売)を使用する場合

ダイバーシティセット(KX-GNT70ANT)に付属のフィルムアンテナを、FM VICS受信用としてお使いになる場合に受信感が悪いときは、KX-GT60Vに付属のFM多重用(VICS)ロッドアンテナを使用してください。

ダイバーシティユニットは、下図のように助手席の下などのしっかりした場所に取り付けてください。詳しい取り付けかたや接続のしかたは、別売のダイバーシティセットまたはダイバーシティユニットに添付の説明書をご覧ください。

例：助手席の下に取り付ける場合



お願い

- 直射日光が当たる場所や、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高い場所へは取り付けしないでください。(故障の原因になります。)
- ダイバーシティユニットは必ず指定のもの(KX-GNT70またはKX-GNT70ANT)をご使用ください。指定以外のものは、VICS内蔵テレビチューナーユニットを取り付けできません。
- ダイバーシティユニットをご使用時には、VICS内蔵テレビチューナーユニットのテレビ用ロッドアンテナを収納してください。

FM多重用(VICS)ロッドアンテナを取り付ける

FM多重用(VICS)ロッドアンテナの取り付け場所について



警告

FM多重用(VICS)ロッドアンテナを伸ばしても、斜線部分へはみ出さないように貼り付ける

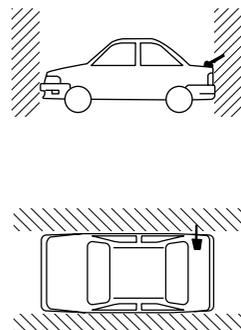


FM多重用(VICS)ロッドアンテナが車幅および車の前後部から、はみ出さないように貼り付けてください。

良い例

FM多重用(VICS)
ロッドアンテナ

悪い例



ロッドアンテナが歩行者などに接触したり事故の原因になります。

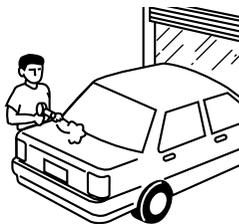
アンテナを正しく貼り付けるために

- 貼り付けた後24時間以内は、雨中の走行や、水をかけたり、引っ張ったりしないでください。
- 貼り直しはしないでください。
- フッ素樹脂処理されたボディ、再塗装されたボディや塗装面には貼り付けしないでください。

接着力が弱くなり、走行中にはがれる恐れがあります。



- 雨天時(霧雨時など)は屋外で貼り付けしないでください。



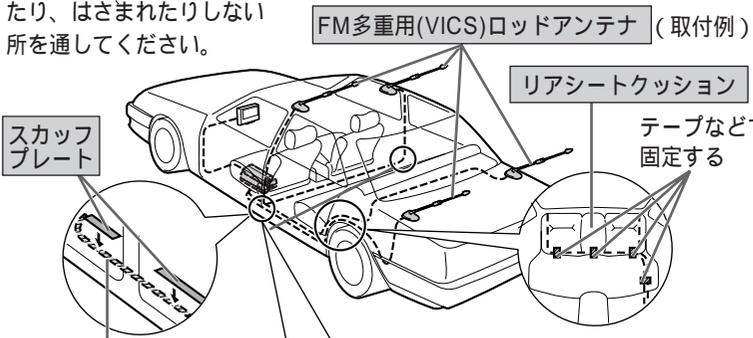
接着力が弱くなり、走行中にはがれる恐れがあります。
(貼付面は、ドライヤーなどを利用し、水分を取り除いてください。)

FM多重用(VICS)ロッドアンテナを取り付ける

アンテナは下図のようにアンテナコードを引き回し、アンテナ底面の保護シールをはがし、屋根などに貼り付けてください。中性洗剤で拭いてから、貼り付ける表面の汚れや水分はきれいに拭き取ってください。

アンテナコードは、ふまれたり、はさまれたりしない所を通してください。

お願い



- アンテナコードはふまれたり、はさまれたりしない所を通し、テープなどで固定してください。(座席を前後に移動してもアンテナコードが破損しないよう、アンテナコードを引き回してください。)
- FM多重用(VICS)ロッドアンテナのコードはラジオのアンテナコードから離してください。(ラジオの受信妨害の原因になります。)
- アンテナコードを車外でたままにしないでください。
- 必ずKX-GT60Vに付属のFM多重用(VICS)ロッドアンテナまたは別売のダイバーシティセットに付属のフィルムアンテナをお使いください。(FMの受信感度の低下の原因になります。)

アンテナコードの固定と引き回しかた

コードクランパー (KX-GT60Vに付属)
アンテナコード

車内へ雨水が入らないようにするために、アンテナコードは、下から車内へ引き込んでください。

コードクランパー (3個)を貼り付け、アンテナコードを固定してください。

トランク上部へ取り付ける場合

1 トランクリッドの開閉時、アンテナコードに無理な力が加わらないよう、ゆとりを持たせて引き回し、付属のコードクランパーで固定する

アンテナコード
コードクランパー
ゴムパッキン

トランクリッド
雨水が車内へ入らないようU字形に曲げる
コードクランパー (KX-GT60Vに付属)
ゴムパッキン

2 防水パッドをトランク内に引き回されたアンテナコードにはめ込み、トランクリッドに貼り付ける

アンテナコード
防水パッド (KX-GT60Vに付属)
両面テープ (KX-GT60Vに付属)
はめ込む
曲げる
はくり紙をはがす

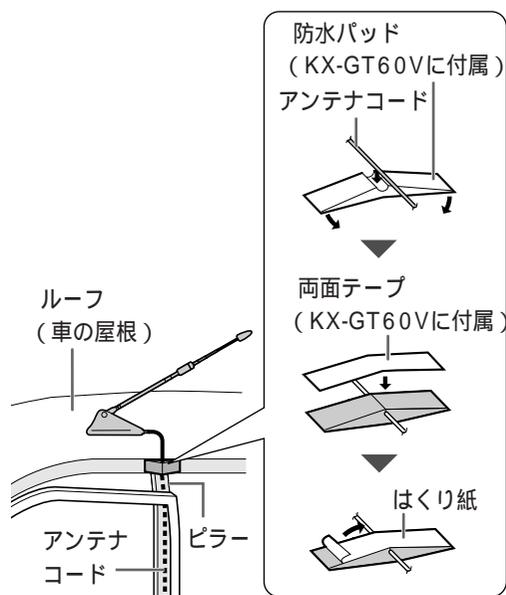
防水パッド (KX-GT60Vに付属)
ゴムパッキン
ゴムパッキンの上に防水パッドが当たるようにします。

FM多重用(VICS)ロッドアンテナを取り付ける

FM多重用(VICS)ロッドアンテナを取り付ける つづき

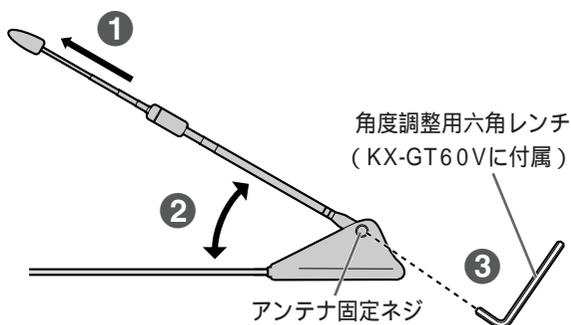
ルーフへ取り付ける場合

- ① アンテナコードをドアの開閉時にゴムパッキン以外の所ではさみ込まないよう配線する
- ② 付属の防水パッドをアンテナコードにはめ込み、防水パッドに付属の両面テープを貼り、はくり紙をはがして、ドアのゴムパッキンが当たる面に取り付ける
- ③ アンテナコードを車内に引き込み、付属のクランパーでピラーにそって固定する



FM多重用(VICS)ロッドアンテナの調整

- ① アンテナエレメントを引き伸ばす
- ② 角度を決める
- ③ 付属の角度調整用六角レンチで固定する



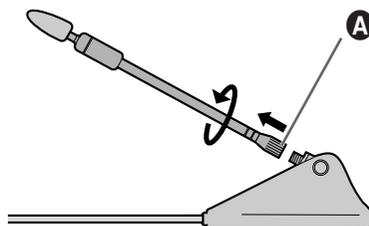
お願い

- アンテナの角度を変える場合は、一度アンテナ固定ネジをゆるめ角度調整後、再び固定してください。
(固定したままアンテナのみを動かすとネジがゆるみ、固定されないことがあります。)
- 受信状態が悪いときは、アンテナエレメントの長さや角度を変えてください。
- 車庫入れのときは、アンテナエレメントを縮めてください。(破損の恐れがあります。)

アンテナエレメントの外しかた

洗車のときなどは、アンテナエレメントを手で矢印の方向に回して外してください。

- アンテナエレメントを取り付ける場合：
A部を手で回らなくなるまで固く締め付けてください。

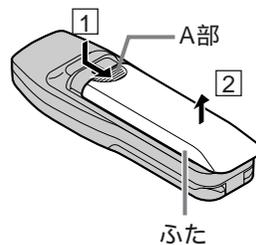


リモコンの準備をする

リモコン(10キー付き)の電池の入れかた

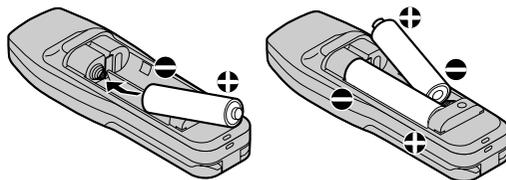
1 ふたを開ける

- ① ふたのA部を指で少し強めに押しながら矢印の方向にスライドする
- ② 真上に取り外す



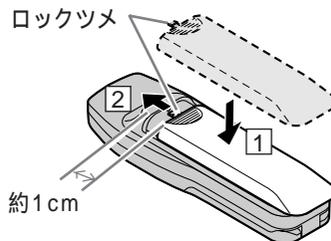
2 電池を入れる

- 電池収納部(底面)の表示に従って入れる。



3 ふたを閉める

- ① 図のように、ふたの閉まる位置よりややすきま(約1cm)をあけた位置に、真上からふたのをせる
- ② ふたのロックツメを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで差し込む



悪い例

- 右図のようにふたを横からスライドしても、完全に閉まりません。



お願い

- 充電式(Ni-Cd)電池は使用しないでください。(形状および性能の一部が異なり、正しく機能がはたらかないことがあります。)
- 電池は単3形乾電池を2本使用してください。
乾電池の寿命 : 約1年(1日当たりキー受付回数120回使用の場合)
マンガン乾電池を20 で使用したとき

⚠ 注意

指定外の電池、新・旧電池や種類の違う電池をいっしょに使わない



禁止

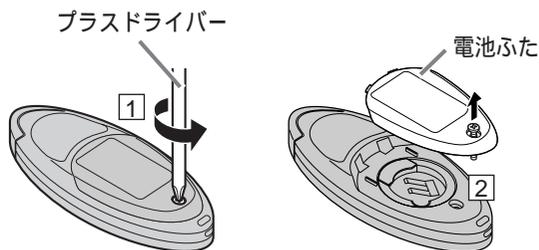
電池の発熱によるやけどや、液漏れの原因になることがあります。

リモコンの準備をする

これだけリモコンの電池の入れかた

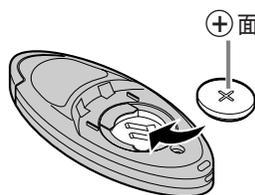
1 電池ふたを開ける

- ① プラスドライバーで裏面のネジを回す
(左回し)
- ② 電池ふたを取り外す
 - ネジに合わないドライバーを使用しないでください。(ネジの十字穴を傷める原因となります。)



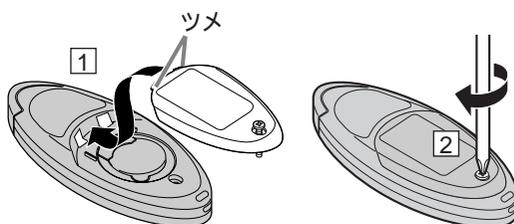
2 電池を入れる

- ⊕ を上にして入れてください。



3 電池ふたを閉める

- ① 電池ふたのツメを引っかけて閉める
- ② プラスドライバーでネジを締める
(右回し)



-
- ⊕ ⊖ は正しく入れてください。
 - リチウム電池の取り扱いについて 15 ページ
 - リチウム電池品番：CR2032
電池の寿命：約6ヵ月(ボタンを押す合計時間：2分間/日)
リチウム電池を20 で使用したとき

リチウム電池の取り出しかた
図のようにしてリチウム電池を取り出します。



警告

リチウム電池は幼児の手の届く所に置かない



禁止



- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

リチウム電池を廃棄するとき
は、端子をセロテープなどで
巻きつけて絶縁する

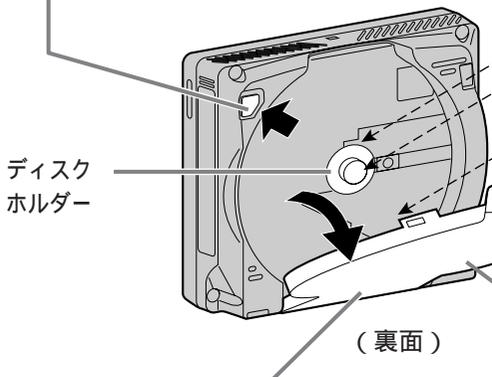


- 他の金属や電池と混じると、発熱・破裂・発火の原因になります。

ディスクを入れる

1 電源を切る

2 オープンボタンを押す



3 CDカバーを開ける

- CDカバーの開閉は手動式です。



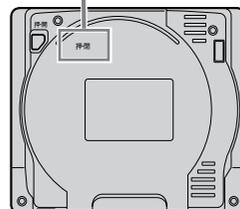
4 ディスクを入れる

- 印刷面を外側に向け、ディスクの中央の穴をディスクホルダーにはめ込んでください。

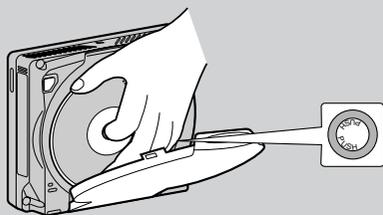
5 CDカバーを閉じる

- カバーの押・閉表示部を押して、確実に閉じてください。

押・閉表示部



取り出しかた



電源を切り、ディスクホルダーを押さえながら、ディスクを取り出す



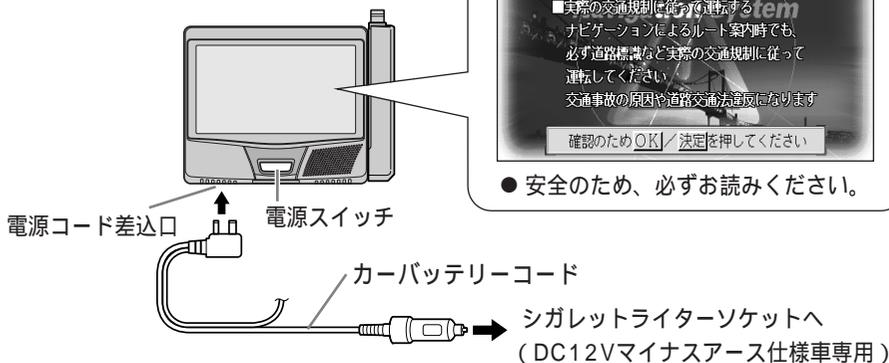
- 付属の地図ディスク以外にも、別売の地図ディスクが使えます。
使える地図ディスクについて 104ページ

電源を入れる



(これだけリモコン)

- 1** 電源スイッチを奥まで
しっかりと押す
- 警告画面を約1分間表示する。



- 2** **OK** を押す
- 地図画面を表示する。(地図画面の見かた 38ページ)
 - これだけリモコンで使うときは、**決定** を押す。

電源の切りかた

電源スイッチを画面が消えるまで(約1秒)押し続ける

お願い

- 電源スイッチの入/切は、奥までしっかり押してください。
- 車両によって車のキーをOFF(抜く)にしても、ナビゲーション本体の電源が切れない場合があります。車を離れるときは、電源スイッチを切ってください。(バッテリーが消耗し、エンジンがかからなくなる場合があります。)

お知らせ

- 1分間何も操作しない場合、現在地を表示します。
(お買い上げ時は、現在地が測定されるまで、東京駅を現在地として表示します。)
- あいさつの音声を流さないようにするとき 78ページ
- 異なるメッセージが表示されたとき 134ページの「こんなメッセージが出たときは」

警告画面で **OK** を押した後の画面について

- 前に使用した状態により、次のような画面を表示します。

前に使用した画面	走行中	停車中
地図画面・案内中	地図画面	地図画面
音楽ディスク(CD)	操作画面	操作画面
CD-G	操作画面	再生画面
テレビ(ビデオ)画面	画面は出ず音声のみ	テレビ(ビデオ)画面

警告

運転者は走行中に操作をしたり、画面を注視しない



前方不注意となり交通事故の原因や道路交通法違反になります。

禁止

- ルート設定などの操作は安全な場所に停車して行ってください。

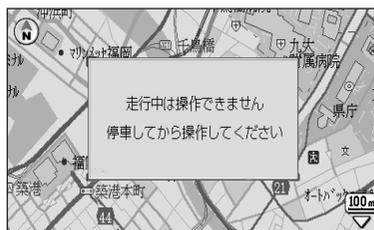
操作や機能の制限について

- 走行中は、安全のため、次の表のように、操作や機能が制限されます。

主な操作・機能	走行中	停車中 ³
メインメニュー (☞42ページ)	× ¹	
OKメニュー (☞44ページ)	2	
これだけメニュー (☞別冊4ページ)	× ¹	
ナビゲーション (☞45ページ)	(細い道は表示しません)	
音楽ディスク(CD) (☞102ページ)		
CD-G (☞103ページ)	4 (映像が出ず操作画面を表示)	
テレビ(ビデオ) (☞98ページ)	4 (映像が出ず音声のみ)	

：制限なし ：一部制限あり ×：制限あり

- 1 操作をしようとする時、右の画面を約2秒間表示します。
- 2 走行中は操作できる項目だけ表示します。
- 3 停車中とは、停車しパーキングブレーキを引いた状態です。
- 4 走行中でも音声は出ます。



- 自宅などで使用の場合

別売の簡易スタンドとACアダプターや充電式バッテリーパックを使用する場合は、VICSの機能(☞109ページ)は使えません。

お知らせ

- パーキングブレーキセンサーコードを正しく接続していないと、走行中と判断し、走行中と同様に操作が制限されます。

現在地を表示する

現在地からのルートを作るときや、正しいルート案内をするためには、必ず、現在地を測定する必要があります。

現在地は、GPS衛星からの信号を受信して表示させます。(GPS衛星についての詳細は 16ページ)



1 地図画面で を押す

- 現在地の測定が始まる。
- 初めてお使いになるときは、現在地が表示(測定)されるまで約20分かかります。また、できるだけ見晴らしのよい安全な場所に停車して行ってください。



2 測定が終わったら、 を押す

- 現在地を表示した地図画面に戻る。
- 測定完了： 赤色で表示
- 受信状況が悪く測定できないとき： 白色で表示



現在地を表示(測定)するまでの時間

● 見晴らしがよく、受信状態のよい場所	約1~2分
● お買い上げ後、最初に使うとき ● 長期間使わなかったとき ● 受信せずに約300 km以上移動したとき	約20分かかります があります

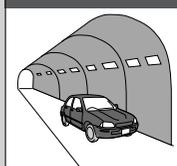
お知らせ

- GPS衛星の配置が悪いと、4個以上のGPS衛星からの信号を受信できていても、一時的に現在地のずれが大きくなったり、現在地を表示しなかったりすることがあります。
- お買い上げ時の現在地は、東京駅に設定されています。
- 現在地が測定できない場所(下記)では、自車位置を設定することで、ルート作成など(ナビゲーション以外のこと)ができます。(37ページ「現在地が表示(測定)できないときは」)
- 長期間ナビゲーションを使わなかった場合は、ナビゲーションを行う前に現在地を表示(測定)してください。
- GPS衛星の測定誤差は、約30~200 mくらいです。

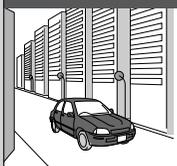
現在地が測定できない場所

右のような場所ではGPS衛星からの信号を受信しにくいいため、測定できません。場所を移動してください。

トンネルの中やビル内の駐車場



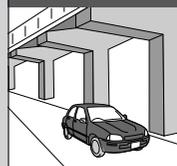
高層ビルなどに囲まれた場所



高い樹木に囲まれた場所



多層構造の道路の下など



現在地が表示(測定)できないときは

GPS衛星からの信号を受信できないなど、現在地が表示(測定)できないときは、現在地(自転車位置)を設定できます。次のような場合は、自転車位置を設定してください。

- 自宅などの屋内で現在地が表示できない場所でルートを作るとき
- 自立航法ユニット(別売)を接続しているときに、現在地の表示に誤差が生じたとき

カーソルキー



1 **メニュー** を押し、カーソルキーで **【設定を変える】(設定)** を選び、**OK** を押す

2 **【自転車位置を設定する】** を選び、**OK** を押す

3 カーソルキーで設定する場所を探す方法を選び、**OK** を押す

- 場所の探し方 89～94ページ

4 カーソルを自転車位置にしたい場所に合わせ、**OK** を押す

- 自転車位置の設定は、できるだけ詳細な地図で行ってください。

5 カーソルキー()で自転車マーク内の矢印を、設定したい進行方向へ回転し、方向が合ったら **OK** を押す

- 設定が終わり地図画面に戻る。
- 案内を始めたいとき → **案内開始** を押す

